

今回は松本藩士出身人物関係、鳩山春子・河原操子・川島浪速についてお尋ねしますのでお答え下さい。

- 1、鳩山春子は、「・・・信州の松本、そこが私の生まれた所であります。それは文久元年（1861）3月23日でございます。・・・私は実に7人目の末子であったのです。・・・」と「我が自叙傳」で述べている。信州松本のどこの町に生まれたのか。次の中から一つ選びなさい。



- ① 新町 ② 田町 ③ 袋町 ④ 片端町

- 2、明治10年（1877）、官立竹橋女学校は西南戦争により廃校となったが、文部省は、竹橋女学校の生徒のために創立当時の師範学校の中に特別英語科を設けたので、春子もそこに入学することとなった。明治11年7月特別英語科を首席で卒業した。9月には師範科本科に入学して、12年5月文部省から派遣されて米国フィラデルフィヤ師範学校に留学となったが、諸事情により中止となった。在学中結婚の話があり、明治14年11月結婚した。さて、誰が結婚の相手であったのか、次の中から一人選びなさい。

- ① 神津 専三郎 ② 鳩山 和夫 ③ 鳩山 一郎 ④ 宮川 保全

- 3、こうして嫁した後、夫のために法曹政界に内助を尽くしつつ、自らは本邦□□教育の為に貢献し、明治19年宮川保全と共立女子職業学校を創立し、昭和3年共立女子専門学校に於ては校長となり、同11年の共立女子高等学校が新設されたとき同校校長を兼ねた。学園は三校経営したが、三校の校長として3000名の生徒の教育にあたった。□□に入る言葉を、次の中から一つ選びなさい。

- ① 男子 ② 父子 ③ 子弟 ④ 女子

- 4、河原操子（かわはらみさこ）は、藩士で藩儒を代々つとめた河原忠（としな）の一人娘として生まれた。明治24年（1891）16歳で師範学校に入学した。どこの師範学校であったか、次の中から一つ選びなさい。



- ① 長野師範学校 ② 東京女子高等師範学校
③ 松本師範学校 ④ 奈良女子高等師範学校

- 5、明治33年夏、長野県立高等女学校に勤務中、女子教育に尽くした権威者が諏訪が来ることを知り、25歳の操子は父の許しを得て、師範学校時代の校長渡邊敏（はやし）校長の紹介で会うことができた。「・・・清国の女子教育に従事したいという希望・・・」を述べ、力を貸すことを約束された。このとき会った女子教育の権威者とは誰のことか、次の中から一人選びなさい。

- ① 鳩山 春子 ② 下田 歌子
③ 与謝野 晶子 ④ 樋口 一葉

6、明治35年（1902）9月清国口口の務本（ウーベン）女学堂教師として赴任した。この事も5に述べた人物の斡旋によるところ大であった。務本女学堂は純然たる女子教育を目的として設立された学校で、東洋人の手によって経営された清国における最初の女学堂であった。この務本女学堂は清国のどこにあったか、次の中から一つ選びなさい。

- ① 上海 ② 北京 ③ 奉天 ④ 満州

7、内蒙古のカラチン王は、王室に女学堂を設け日本風の女子教育をしたいので日本の女教師を紹介して欲しいと懇望された。白羽の矢は務本女学堂でその実績が知られていた操子に立てられた。1年で務本女学堂を辞して、明治36年11月北京に着き、入蒙の準備をした。この時2週間公使館内に滞在して、旧松本藩士らに面会して話を聞き準備を整えた。12月21日着、28日開堂式、30日から授業開始となった。2年後後任に託して帰国した。北京で面会した松本藩士とは誰か、次の中から一人選びなさい。

- ① 福島 安生 ② 川島 浪速 ③ 黒田 十兵衛 ④ 川口 五郎



8、写真左の人物は、慶応元年（1865）に松本藩士の長男として北馬場で生まれた。この人物は誰か、次の中から一人選びなさい。

- ① 中島 このすて 這葉 ② 浅井 洌
③ 西郷 弧月 ④ 川島 浪速

9、23歳の時に口口大陸に理想国建設をと、東京外国語学校で外国語を学んだ。中途退学して大陸に渡り、徒歩での横断を計画したが病のため帰国した。その後大陸との戦争時には通訳として従軍した。これは福島安生陸軍少尉が呼んだものであった。口口に当てはまる言葉を、次の中から一つ選びなさい。

- ① 露国 ② 米国 ③ 中国 ④ 欧国

10、大陸を占領した連合軍が皇族などに砲撃をしようとしたが、彼の働きで無血開城となった。警察官を養成する責任者にも就任した。この頃から大陸王朝の王と親しくなり、義兄弟の契りを結んだ。王には21人の王子と17人の王女がいた。そのうちの14王女が、写真の人物である。養女として、松本高等女学校にも通い、また「男装の麗人」などとも呼ばれていた。誰であるか、次の中から一人選びなさい。



- ① 川島 廉子 ② 川島 芳子
③ 波多野 せい

氏名		点数	
----	--	----	--